

令和4年度第2回「教員等の出退勤時刻実態調査」の結果【データ編】

1 調査方法等

(1) 調査対象教職員

校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手、講師

※フルタイム勤務職員全員

(2) 調査期間

【1回目】令和4年 6月1日（水）から 6月30日（木）までの1か月間

【2回目】令和4年11月1日（火）から11月30日（水）までの1か月間

※今回の調査結果は2回目の調査となります。

(3) 調査対象校

県内の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校

※千葉市立の学校及び市立高等学校を除く

(4) 調査の実施方法

①市町村立学校

市町村立の小学校、中学校、義務教育学校及び市立特別支援学校においては、各市町村教育委員会が管下の教職員の実態をそれぞれの方法で把握し、当該月の平日及び土日における各出退勤時刻、在校等時間、当該月の時間外在校等時間を取りまとめ、各教育事務所を通して県教育委員会に報告する。

②県立学校

県立の中学校、高等学校及び特別支援学校においては、ICカード式タイムレコーダ及び管理システムを活用して出退勤時刻を記録し、対象職員の当該月の平日及び土日における在校等時間、当該月の時間外在校等時間を管理職が取りまとめて県教育委員会に報告する。

2 調査結果について

(1) 全校種（市町村立学校、県立学校）

①月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える教諭等の割合

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
教諭等（R4.11月）	47.0%	58.9%	56.3%	29.3%	10.1%
教諭等（R3.11月）	50.9%	63.8%	60.0%	31.1%	10.2%

※「教諭等」：主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手及び講師

教諭等における全校種の平均 **42.4%**（前年同月：45.7%）

②月当たりの時間外在校等時間（校種別）

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
教諭等（R4.11月）	44時間05分	55時間39分	49時間14分	36時間43分	26時間19分
教諭等（R3.11月）	45時間25分	59時間04分	60時間51分	37時間47分	27時間40分

教諭等における全校種の平均 **43時間33分**（前年同月：45時間22分）

在校等時間の求め方

$$\text{在校等時間} = \text{在校している時間} + \text{①及び②} - \text{③及び④}$$

- ① … 校外において職務として行う研修や児童生徒の引率等の職務に従事している時間
 ② … 地方公共団体が定めるテレワークの時間
 ③ … 勤務時間外における自己研鑽及び業務外の時間（教職員からの自己申告による）
 ④ … 休憩時間

【調査結果の概要から】

- 月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える教諭等の割合について、全校種の平均が42.4%だった。全体的に45時間を超えて業務する教諭等の割合が減少したことについては、業務改善に向けての取組や意識の向上による結果と推察する。
- 月当たりの時間外在校等時間について、教諭等における全校種の平均は43時間33分であり、前年度より改善されたものの、県の目標である「45時間を超えないようにする」を1時間27分減少していた。

(2) 市町村立学校（小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校）

①月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える者の割合

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校長（R4.11月）	33.0%	24.3%	[75%]	[0.0%]
〃（R3.11月）	30.9%	26.1%	[100%]	[50.0%]
副校長・教頭（R4.11月）	83.6%	83.5%	[100%]	[80%]
〃（R3.11月）	86.6%	83.8%	[75%]	[80%]
教諭等（R4.11月）	47.0%	59.0%	56.3%	21.5%
〃（R3.11月）	50.9%	63.9%	60.0%	30.1%

※〔 〕は母数が少ないため参考値

教諭等における市町村立学校全体の平均 **51.1%**（前年同月：55.4%）

②月当たりの時間外在校等時間

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校長（R4.11月）	39時間16分	35時間15分	[57時間30分]	[51時間32分]
〃（R3.11月）	38時間39分	35時間36分	[54時間10分]	[49時間34分]
副校長・教頭（R4.11月）	65時間18分	64時間28分	[74時間55分]	[59時間45分]
〃（R3.11月）	66時間00分	66時間35分	[78時間26分]	[70時間20分]
教諭等（R4.11月）	44時間05分	55時間42分	49時間14分	27時間55分
〃（R3.11月）	44時間36分	59時間26分	51時間15分	29時間56分

※〔 〕は母数が少ないため参考値

教諭等における市町村立学校全体の平均 **48時間07分**

（前年同月：50時間19分）

③月当たりの時間外在校等時間が80時間を超える者の割合

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校長（R4.11月）	1.3%	1.3%	[0%]	[0%]
〃（R3.11月）	1.9%	2.9%	[0%]	[0%]
副校長・教頭（R4.11月）	20.5%	21.6%	[36.4%]	[20.0%]
〃（R3.11月）	25.4%	30.6%	[50.0%]	[40.0%]
教諭等（R4.11月）	4.4%	20.5%	10.6%	0%
〃（R3.11月）	6.2%	26.6%	24.8%	0%

※〔 〕は母数が少ないため参考値

④平日における1日当たりの時間外在校等時間

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校長（R4.11月）	1時間58分	1時間42分	[2時間39分]	[2時間40分]
副校長・教頭（R4.11月）	3時間12分	3時間02分	[3時間43分]	[4時間12分]
教諭等（R4.11月）	2時間10分	2時間23分	2時間24分	1時間34分

※7時間45分を超えた在校等時間を算出

※〔 〕は母数が少ないため参考値

⑤土・日曜日の1日当たりの在校等時間（振替休日含む）

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校長（R4.11月）	0時間18分	0時間30分	[2時間53分]	[0時間00分]
副校長・教頭（R4.11月）	1時間01分	1時間19分	[3時間06分]	[0時間06分]
教諭等（R4.11月）	0時間30分	1時間54分	2時間53分	0時間00分

※〔 〕は母数が少ないため参考値

【市町村立学校について】

- 教諭等の「④平日における1日当たりの時間外在校等時間」は特別支援学校を除き2時間以上であった。
- 各校種とも、副校長、教頭の時間外在校等時間が他の職種よりも長く、「①月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える者の割合」は、全体的に減少した。また②月当たりの時間外在校等時間においても減少傾向にあり、業務改善と働き方改革が進んでいると推察する。
- 小学校・中学校においては、教諭等で昨年の同時期と比較して「②月当たりの時間外在校等時間」は改善傾向にあり、コロナ禍での業務効率化の成果や働き方改革における意識づけが少しずつ表われ始めている。しかしながら特に副校長・教頭、教諭等においては、平均45時間を超える状況にあり、さらに業務の負担軽減に向けて進めていく必要がある。
- 今後も引き続き本調査結果を基に各市町村教委と改善に向けての協議や課題について情報共有し、域内の市町村学校に対して改革の推進に努めていく。また改善につながった好事例等についても共有及び周知を依頼し、各学校の推進を図る。

(3) 県立学校（中学校、高等学校、特別支援学校）

①月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える者の割合

職種（調査時期）	中学校	高等学校	特別支援学校
校長（R4.11月）	—	11.7%	2.7%
〃（R3.11月）	—	12.4%	13.9%
副校長・教頭（R4.11月）	[100%]	51.5%	70.3%
〃（R3.11月）	[100%]	56.4%	60.9%
教諭等（R4.11月）	35.3%	29.3%	9.3%
〃（R3.11月）	41.2%	31.1%	8.8%

※〔 〕は母数が少ないため参考値

教諭等における県立学校全体の平均 **22.6%**（前年同月：23.8%）

②月当たりの時間外在校等時間

職種（調査時期）	中学校	高等学校	特別支援学校
校長（R4.11月）	—	26時間58分	28時間14分
〃（R3.11月）	—	27時間27分	31時間34分
副校長・教頭（R4.11月）	[60時間47分]	54時間13分	59時間32分
〃（R3.11月）	[70時間分26]	55時間28分	57時間21分
教諭等（R4.11月）	45時間32分	36時間43分	26時間13分
〃（R3.11月）	47時間00分	37時間47分	27時間08分

※〔 〕は母数が少ないため参考値

教諭等における県立学校全体の平均 **33時間14分**

（前年同月：34時間18分）

③月当たりの時間外在校等時間を80時間を超える者の割合

職種（調査時期）	中学校	高等学校	特別支援学校
校長（R4.11月）	—	0%	0%
〃（R3.11月）	—	0.8%	0%
副校長・教頭（R4.11月）	[0%]	5.5%	6.3%
〃（R3.11月）	[50.0%]	11.1%	7.8%
教諭等（R4.11月）	5.9%	5.9%	0%（1名）
〃（R3.11月）	8.8%	6.3%	0.1%

※〔 〕は母数が少ないため参考値

④平日における1日当たりの時間外在校等時間

職種（調査時期）	中学校	高等学校	特別支援学校
校長（R4.11月）	—	1時間08分	1時間30分
副校長・教頭（R4.11月）	[3時間02分]	2時間32分	2時間50分
教諭等（R4.11月）	1時間54分	1時間26分	1時間18分

※7時間45分を超えた在校等時間を算出

※〔 〕は母数が少ないため参考値

⑤土・日曜日の1日当たりの在校等時間（振替休日含む）

職種（調査時期）	中学校	高等学校	特別支援学校
校長（R4.11月）	—	0時間25分	0時間02分
副校長・教頭（R4.11月）	[0時間00分]	0時間20分	0時間10分
教諭等（R4.11月）	0時間44分	0時間47分	0時間05分

※ [] は母数が少ないため参考値

【県立学校について】

- 教諭等の「②月当たりの時間外在校等時間」の平均は33時間14分であり、県の目標及び「学校職員の勤務時間等に関する規則」で規定された、月当たりの時間外在校等時間45時間以内を下回っているが、45時間を超える者や80時間を超えている者も減少傾向ながらも存在することから、今後も更なる取組を推進していく。
- 副校長・教頭の時間外在校等時間については、県立中学校では参考値ではあるが60時間47分、高等学校、特別支援学校では50時間を超えており、長時間勤務である。「③月当たりの時間外在校等時間が80時間を超える者の割合」は、過去の結果と比較した場合、教諭等においては減少しているが、副校長・教頭は、80時間を超える者は減少傾向にあるものの、より一層の業務改善に係る取組を進めていく必要がある。教育委員会としては、副校長・教頭に係る調査・報告の削減及び軽減や、ICTによる業務の効率化を目指し、負担軽減を図っていきたい。
- この調査結果から、働き方改革が推進されたとみられる学校に対しても聞取りを行い、その好事例等を情報共有して全体の改善に努める。